

件名 ; 2014年度 カヌースラローム、カヌーワイルドウォーター競技 主要大会の競技方式について

2014年度の主要大会の運営方針を下記の通り決定しましたので連絡申し上げます。

1 全般

競技規則は2013年度改定版を適用する。

2 カヌースラローム競技

① 試合方式他

- a. 連盟の主催する大会はノンストップレーニングを行わず、フォアランを行うものとする。
- b. ジャパンカップは全て2漕1採方式とする。
- c. 日本選手権、NHK杯はジャパンカップ第1戦(4/5日)を予選会とし、4/6日の本戦は準決勝、決勝の各々1本の漕航とする。
- d. 長崎国体もフォアランを実施し2漕1採とする。
- e. 2015年度のSL日本選手権、NHK杯の準決勝へのシード選手は2014年度のナショナルチームメンバーに加え、2014年度のジャパンカップの最終ランキングで下記の選手数とする。

ア 男子K-1	上位10名
イ 女子K-1	上位7名
ウ 男子C-1	上位2名
エ 男子C-2、女子C-1については別途定める。	

② ジャパンカップのランキング取得条件

- a. 2014年度のジャパンカップ7試合(富山、熊本(長崎リハ)、岡山、青森、福島、山口、岐阜)の内4試合以上に出場(発艇)すること。
- b. 最終戦に出場し、その得点と残りの上位2戦の合計3試合で、ランキングをつける。
ランキングの付かない選手も最終ポイントに基づき次年度の発艇順位をつける。
尚ジャパンカップの発艇はN.T.(A,Bチーム)、U23、JrのN.T.、ジャパンカップのランキングの順で考慮する。

3 カヌーワイルドウォーター競技

① スプリント競技は2013年競技規則改正に伴い、2漕1採方式とする。

② 種目

- a. 第1戦-熊本(長崎リハ)はクラシックとする。
- b. 第2戦-岡山はクラシックとする。
- c. 第3戦-青森はスプリントとする。
- d. 第4戦-福島はクラシックとする。
- e. 第5戦-山口はスプリントとする。
- f. 第6戦-岐阜はクラシックとする。

③ ジャパンカップのランキング取得条件

- a. 2014年度の6試合の内3試合以上に出場(発艇)する事。
- b. 最終戦に出場し、その得点と残りの上位2戦の合計3試合で、ランキングをつける。
ランキングの付かない選手も最終ポイントに基づき次年度の発艇順位をつける。
尚ジャパンカップの発艇はN.T.、ジャパンカップのランキングの順を考慮する。

4 アジア競技大会カヌースラローム(パラレルカヌースラローム)競技 日本代表選考会

開催日 H26年4月7日

会場 富山市富岩運河環水公園内 特設競技場

大会要綱 別途 (競技規則も大会要綱参照)

5 その他

- ① 普及、強化の観点からジャパンカップのスラローム競技においては2種目以上(例; SLのC-1とK-1に出る場合等)に参加する場合、2種目め以降の参加料を半額とする。
- ② 型式認定済の新艇公認(検定)は事前申請を行い、連盟開催の大会時に希望する場合は大会検艇前の指定された時間に行う。
- ③ 大会期間中コース内での練習は指定時間以外は禁止する。
- ④ 国体における用具の商標、標識については所属都道府県名及び製造販売業者のもの以外は認めない。

以上